



KSC野鳥と自然観察会 2022年10月観察会報告

代表 西川正知

日時	2022年 10月 29日(土) 9:30~12:00		報告者	片山知栄子
場所	菊水山		天気	晴れ
参加人数	顧問3名・27期5名・28期8名・29期7名 : 総計23名			
目的	南への渡りの途中の「ムギマキ」の観察			
観察コースと概要	9:30 鈴蘭台駅	鈴蘭台駅に予備集合。参加者チェックの後、集合地点の菊水山登山口まで徒歩20分ほどで移動。		
	10:00 菊水山登山口	集合地点の菊水山登山口で点呼の後、堀池顧問より「ムギマキ」は旅鳥で通過していく希少な種類。カラスザンショウの木の実を食べるので、そこが観察ポイント。今しかみられないが、この3日ほどでいていない。キビタキは営巣だから長くみられる。多くのカメラマンの邪魔にならないようにと説明頂く。平林顧問より「あいな里公園にムギマキ・キビタキいました。アサギマダラもフジバカマあたりで多く飛んでいる」との情報をいただく。興味のある方は場所お知らせしますとの事。ジョウビタキの鳴き声が聞こえる。		
	~11:30 NTT管理道	NTT管理道沿いに歩みを進める。「ミヤマカズリ」「ゴンズイ(4つにはじける)」の実、「コウヤボウキ」等見つけ、説明受ける。カラスザンショウの太木(幹にとげがついているのが特徴)が多くなる。キビタキが数羽飛んでいたの、しばらく観察。カメラマンの集団がいる「ムギマキ」ポイントへ進む。ハヤブサが、飛んでいった。ハシブトカラスも飛んでいる。ジョウビタキの鳴き声がきこえた。幸運な事に「ムギマキのメス」が観察できた。途中ナワシの花が咲いていた。オオバヤシャブシの実。ヤブムラサギの赤い実。ウラジロの木に赤い小さなリンゴのような実がなっていた。試食するとリンゴの味が、不思議。ヤマガラが松ぼっくりの木で飛んでいた。		
	12:00 毎日登山記帳所	ここで「鳥合わせ」を行い解散するが、豊辺顧問が退任の挨拶をされた。顧問としては、退任しますが、まだまだ元気ですので観察会には、参加しますとのこと。お待ちしております。巣箱の説明を熱心にされていたお姿に愛鳥の強さが感じられ感銘しましたと代表。		
	~12:30 菊水山山頂	任意の方で山頂に向かう。絶好の観察日和、神戸の街を眼下にし、爽快な気分で昼食をとる。それぞれの思いで下山する。		
観察出来た鳥 12種	ウグイス・エナガ・キジバト・コゲラ・トビ・ハイタカ・ハシブトカラス・ハヤブサ・ヒヨドリ・ムギマキ・メジロ・ヤマガラ			
声を聞いた鳥 1種	ジョウビタキ			
その他	2回観察会がなかったので、久しぶりに観察会を楽しみました。			
観察風景				